


## 売上高の増加が収益の改善につながらない状況が続く

1月の情報連絡員報告によると、前月同様売上高DI値は製造業が回復傾向を示している一方、非製造業は依然足踏み状態が続いている。又、収益状況については製造業・非製造業とも回復傾向が見られず、売上高の増加が収益の改善につながらない実態が現れている。

【製造業63人、非製造業、87人、計150人の集計】

前年同月比 のDI値	全産業	製造業	非製造業
	前年同月比	前年同月比	前年同月比
売上高	 -18.7	 -8.1	 -26.1
在庫数量	 -11.9	 -11.3	 -12.5
販売価格	 -16.7	 -21.0	 -13.6
取引条件	 -15.3	 -21.0	 -11.4
収益状況	 -35.3	 -33.9	 -36.4
資金繰り	 -22.7	 -25.8	 -20.5
設備操業度	 -9.7	 -9.7	—
雇用人員	 -16.0	 -14.5	 -17.0
業界の景況	 -34.7	 -27.4	 -39.8

※DI(Diffusion Index)値とは、景気の動きをとらえるための指標です。(−100≤DI値≤100)

DIの計算方法…増加・好転と答えた企業の割合−減少・悪化と答えた企業の割合

【例：調査数「20」のうち好転が「4」、不変が「6」、悪化が「10」とした場合…(4−10)/20×100=−30】



30以上



10以上  
30未満



−10以上  
10未満



−30以上  
−10未満



−50以上  
−30未満



−51以下

平成23年  
1月

# 業 界 の 声

製 造 業		
集計上の分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等
食料品	漬物製造業	現存する最古の漬物製造業者は17世紀創業と我が国の漬物業界は老舗企業であふれている。価格競争に加わらず、伝統の技を活かした経営が望まれる。
	麺製造業	日本そばやラーメン店は、廉価な回転寿司や牛丼店に顧客を奪われ客数が減少している。
	中華麺製造業	売上減少等により廃業を検討する組合員が見受けられる。
	製粉業	TPPへの対応に業界全体として取り組まなければ、大きな影響を受ける恐れがある。
繊維・同製品	ネクタイ製造業	中国における生糸の価格が大幅に高騰している。
	帽子製造業	厳しい寒さにより防寒帽の売れ行きが前年比10%ほど伸びている。
	帆布製品製造業	主力商品のテント生地の販売量が大幅に減少。今後の見透しも非常に厳しい。
	ニット製品製造業	原料の糸の価格が高騰しているが、中国で投機対象となっていることも原因である。このままでは納期遅延が発生し、大打撃を受ける可能性がある。今月は6人の脱退組合員が発生した。
	洋服製造業	前年比20%に近い工賃の低下と、工程が複雑で生産性の落ちる仕事の増加で組合員の収益は極度に悪化している。このため、組合員の事業継続のモチベーションが大きく低下している。
木材・木製品	建具製造業	受注量、売上とも増加傾向にあるが、収益率が悪い。ただし景気回復の兆しが見られる。
印刷	印刷業	前月は前年並みの売上高。今年の1～3月の予測はほぼ前年並みとなっている。
	印刷加工業	アイドルグループの写真集等により一部の出版物は好調であったが、全体の減少幅を埋めるには至らなかった。業者間の価格競争が熾烈となっている。
化学ゴム	プラスチック製品製造業	季節商品を中心に若干売上が伸びた。ただし来月以降の見通しは立っていない。
窯業・土石製品	コンクリート製品製造業	公共工事の削減が業界の景況を悪化させている。
鉄鋼・金属	缶製造業	オーストラリアの洪水被害の影響で鉄鋼材料の価格上昇が懸念される。 今月も低調のまま推移した。
	鋳物製造業	業種によっては多少の動きがあるものの、不安定な状況が続いている。
	鍍金加工業	年明け後も厳しい受注環境にある。3月まで受注環境は下降すると見られ、4月以降の受注状況は不透明となっている。海外進出企業の現地での部品調達が進んでいる。
	金属熱処理業	景況は不安定ながらも上向きつつある。輸送用トラックや建設機械が好調で景気の牽引役となっている。
	建築金物製造業	業界全体の景況は改善傾向にあるものの、組合員間格差が広がっている。
輸送用機器	自動車部品製造業	鉄鋼材の仕入価格が上昇した一方、販売価格への転嫁は一部しか行っていない。
一般機械	写真製版機材製造業	前月の売上を伸ばした反動で今月の売上は伸び悩んだ。
	木工機械製造業	住宅着工数の大幅増を期待したが、僅かな伸びに留まり期待はずれの結果となった。
その他の製造	スポーツ用品製造業	ファミリー向け、釣り用等のカヌーの売上が伸びている。
	造花製造業	組合員が一社脱退した。
	ガス圧接業	稼働率は上昇しているが、受注単価は下落している。
	工業塗装業	受注量の低迷状況が続いている。

平成23年  
1月

# 業界の声

## 非製造業

集計上の分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等
卸 売	ニット製品卸売業	寒さが戻ったため冬物の売上が改善傾向にある。
	理容用品卸売業	新年恒例の懇親会において、業界の活性化についての意見交換がなされた。さらに、今年12月に開催される、「第2回東京理容まつり」の成功に向けて組合員が協力していくことが確認された。
	青果卸売業	青果の仕入高は前年比96.5%。
	美容用品卸売業	売上は若干増加している。
	鶏肉・鶏卵卸売業	寒さがピークとなる1月は鶏の飼育環境が悪化するが、これに加えて鳥インフルエンザの流行で鶏の流通量は大幅に減少。今後需給環境が逼迫することが予想される。
	家具卸売業	現状維持が続いている。
	木材卸売業	全国的に降雪量が多く、出荷量は低調となっている。国産材と一部外国産材は品薄状態で強含みの展開。また、建材では断熱材が品薄で納期に期間を要している。
	紙卸売業	徐々に回復しつつも依然として売上は減少傾向にある。期末需要を期待している。
	電気資材卸売業	住宅着工件数が伸びているため、業界に明るさが出ている。
	玩具卸売業	テレビゲームの販売状況に陰りが出てきている。従来の玩具が復権する機会とも言える。
	電線卸売業	底打ち感が出て来ている。銅を中心とした材料価格が上昇しており、価格の転嫁が急務となっている。
	再生資源卸売業	リサイクル業界にとって年末年始は繁忙期に当たるが、発生量の減少が顕著となっている。
	食器卸売業	今月の売上も過去最悪の状況であった。
	銅製品卸売業	原材料価格の高騰が止まらない。
小 売	木材小売業	見積もり依頼が増加しつつある。
	古書籍小売業	景況は一進一退の状況が続いているが、好転するまでには至っていない。
	自動二輪車小売業	昨年二輪車出荷台数の減少傾向は多少改善したが、電動アシスト自転車に出荷台数で抜かれる結果となった。
	豆腐小売業	廃業2人を含め脱退組合員が14人発生した。
	鮮魚小売業	寒ブリの豊漁が報道されたが、リアルタイムな報道ではなかったため、消費者に誤解を与える結果となった。また、大手量販店が産地で買い占めたため、セリ値が高騰した。
	包装材料小売業	綿糸が綿産地の不作や投機の影響により高騰している。包装材料用綿糸についても価格が上昇しており、対応に苦慮している。
	電器製品小売業	昨年11月のエコポイント先取り需要の影響がはっきり出ている。テレビの在庫量が増加しており、販売価格は低下し始めている。
	中古自動車小売業	新車販売店が中古車の自社販売に力を入れだしたため、中古車市場に出回る良質車の流通量が益々減少している。
	衣料品小売業	寒さとともに、ジャケットやコートを中心とした冬物衣料の売上が増加している。
	化粧品小売業	売上、収益状況は悪化。組合員の廃業が続いている。
	文具小売業	売上の低迷は、ネット通販の影響が大きい。このため、通販では取り扱わない高付加価値品への対応が求められている。 文具の購入形態が変化しており、今年は厳しい状況になることが予想される。

小 売	食品小売業	一部店舗で回復の気配が見られるが、全体としては前年比マイナスの状況が続いている。以前ほど鍋物商材といった季節品の売上が振るわない。
	眼鏡小売業	廉価販売店で眼鏡を購入した消費者からの相談が増加している。廉価販売店の商品への不満やアフターサービスの不備が表面化している。
	ペット小売業	今年の干支にちなんでうさぎが売れているが、業界全体の売上はさほどの変化はない。鳥インフルエンザの影響が業界にも現れている。
	青果小売業	生産者の情報を消費者に伝えるなどして販売する「こだわり品」が好調である。
商店街	目黒	売上増を実感している組合員が増えている。ただし、販売価格の低下が進んでいる。
	秋葉原	1月23日(日)、秋葉原の歩行者天国が混乱も無く再開された。今後この歩行者天国が恒久的に実施されることを望んでいる。
	銀座	寒さも冬物売上を押し上げることはなかったが、中国人観光客が戻ってきたことは朗報である。
サービス	クリーニング業	クリーニング店は対面接客を行う必要のある業種であるが、こうしたアナログ的な対応を武器として商売につなげる可能性を探りたい。
	飲食業	大手チェーン店の安値攻勢に押され、個人経営の組合員の状況は厳しい。
	公衆浴場業	重油の値上により、主燃料のガスへの転換が進展している。
	廃棄物処理業	23区に年末年始のゴミ搬入を許可してもらった結果、円滑に事業を進めることが出来た。
	複写業	新年早々、業界の売上状況は最悪の水準となった。一部組合員はオンデマンド印刷に対応し活路を見出そうとしているが、仕事量の減少はいかんともしがたい。
運 輸	貨物自動車運送業	荷動きは前年に比べて伸びているものの、採算は厳しい。
	港湾運送業	東京港における昨年11月のコンテナ取扱量は前年比13%の増加となった。現在、港湾法の改正が検討されており、埠頭の運営を一元管理する会社が創設される可能性がある。
建 設	管工事業	仕事量は増加しつつあるが、価格競争が激しく収益につながらない。

## ✓ 行政庁・中央会に対する主な要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	主な要望事項
織 維	帆布製品製造業	政府の景気対策は中小零細企業になんら効果を現していない。実質的に業績が回復するような、大胆な景気対策の実施をお願いしたい。
印 刷	印刷業	中央省庁が導入を検討していると言われる官公需発注の際の「競り下げ」は、中小企業をさらなる低価格競争に追い込む可能性があり、再検討願いたい。
卸 売	食肉卸売業	消費者の鳥インフルエンザへの不安を解消する政策の実施をお願いしたい。
小 売	青果小売業	市場の休場日が青果と水産で異なる日があった。組合員の混乱防止のためにも従来の形としてほしい。
	木材小売業	住宅エコポイントの申請手続きを簡素化してほしい。
サービス	複写業	各種の認定制度への助成や補助の拡充を望む。